

狂言鑑賞会



今年も狂言鑑賞会を実施しました。

毎年、五笑会の皆様にお世話になり、本物の狂言に触れる機会を作っていただいています。

今年度の演目は「柿山伏」。6年生の国語科の教科書にも取り入れられている有名なお話です。

子ども達は、狂言は室町時代から続く伝統文化であり、喜劇であることを教えてもらってから鑑賞しました。狂言ならではの抑揚のある声や台詞にも面白さを感じ、実際にはない柿の木をそれぞれがイメージしながら、山伏と農民との掛け合いと動作を楽しんでいました。狂言を初めて見た1年生からも「面白かった!」「もっと見てみたい!」と声が上がっていました。

「本物に触れる・体験する」ことは、とても大切で貴重な経験であると改めて感じる事ができた時間となりました。